

委員からの質問及び回答について

第2回環境審議会後、委員から質問をいただき、以下の通り回答しておりますので、委員の皆様にご共有させていただきます。

【質問①】

・ここ最近の米沢牛への評価に関して、わかりやすい指標がありましたら教えていただけたらと思います。例えば、食肉公社からの出荷量であるとか、ふるさと納税制度による米沢牛の返礼数など、米沢市として『米沢牛』のブランド価値を上げる必要性を知りたいです。

【回答】

米沢牛振興は、置賜3市5町が連携を図る「定住自立圏共生ビジョン」の中でも、産業振興の一つに位置付けております。

その中において、米沢牛に関する各取組（事業）と KPI について主なものとして以下のように設定されております。

委員が仰る通り、米沢市食肉センターでのと畜頭数（出荷量に類するもの）も KPI の一つとなっております。

○「米沢牛生産基盤強化事業」

KPI：繁殖雌牛の頭数

基準値 2,497 頭（R4）

目標値 2,924 頭（R10）

○「米沢市食肉センターの管理運営」

KPI：と畜頭数

基準値 3,558 頭（R4）

目標値 3,600 頭（R10）

また、ふるさと納税における返礼品について、米沢牛（精肉・加工品含む）の申し込み状況は以下の通りです。

【寄附金額ベース】

R4：約 16.9 億円（全体の 23.9%）

R5：約 15.1 億円（全体の 26.6%）

【申込件数ベース】

R4：約 45,000 件（全体の 31.3%）

R5：約 43,000 件（全体の 34.9%）

【質問②】

・第3期米沢市環境基本計画の中の「木質バイオマス利活用の推進」の具体的な実行内容などありましたら、教えていただきたいです。市庁舎内に設置してましたか？

【回答】

本市では、産業部森林農村整備課が窓口となる「米沢市木質バイオマス燃焼機器設置事業費補助金」により、木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ、薪ストーブ）の購入・設置費用への補助を行っております。

補助率は、購入・設置にかかる費用総額の 6 分の 1 です。

※上限 ペレットストーブ 5 万円

薪ストーブ 8 万円

また、令和 4 年 7 月に「米沢市の建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」を策定し、公共建築物及び民間建築物での木材利用を促進していくことで、脱炭素社会の実現への貢献を図ることとしています。

一方で、市庁舎内での設置などは行っておらず、利活用促進に向けて、そういった周知啓発にかかる取組も検討してまいりたいと思います。